

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	建設部
	08078-1	施設整備費(交通安全施設費)	室名	維持修繕室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	06:地域安全の充実	務	款 土木費
	施策の方向	02:交通安全の確保	科	項 道路橋梁費
戦略プロジェクト		目	目 交通安全施設費	

② 目的・概要	対象	市民
	目的	道路における交通環境の改善を行うとともに、交通事故の防止を図り、あわせて交通の円滑化に資することを目的とする。
	概要	各自治会からの要望のほかに、児童の通学路での登下校中における交通事故が多発しているため、市内全ての小学校の通学路を対象に教育委員会と公安委員会(亀山警察署)が連携して、緊急合同点検を実施し、その点検結果による対策必要箇所について対応している。

		27年度	28年度
①	名称	改善箇所数	計画値
	補足	要望箇所のうち改善が図れた箇所数	実績値
			161
			箇所
②	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
③	名称		計画値
	補足		実績値
			単位
④	名称		計画値
	補足		実績値
			単位

年度計画				年度実績			
④ 事業の計画・実績					<ul style="list-style-type: none"> *カーブミラー設置 *ガードレール設置 *転落防止柵設置 *区画線設置(外側線) *区画線設置(文字) *標識設置 *照明灯設置 		
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	3,185
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	3,185	平均給与額×③
	県支出金				所要人員 ③	0.42	
	地方債				臨時職員人件費 ④		
	その他				受益者負担額 ⑤		
	一般財源		24,413	24,413	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥
	再掲	翌年度への繰越額					
		前年度からの繰越額					
		総人件費		①	3,185		
	総コスト		⑥	27,598			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	歩行者の安全確保と交通事故防止のための対策として、ガードレール設置、カーブミラー設置、区画線設置などを実施している。要望については優先度の高い箇所からの施工となっているが、歩行者等の危険度は軽減され交通事故防止にもつながっていると考える。また、毎年、児童の安全確保の観点にたち、教育委員会、公安委員会(亀山警察署)と連携し、緊急合同点検も実施しており、それぞれの安全対策事項が把握でき共通認識が保たれている。	総合判定 A 順調に進んだ
	【反省点・課題】	財政的に厳しい状況であり、危険性、緊急性の高い箇所から優先度を判断して順次工事を進めているが、すべての要望を改善するには至っておらず未対策箇所が残っている。それらについては今後も引き続き改善に向け取り組んでいく考えである。	
	【改善の方向性】	現場条件を把握し固定概念にとらわれず、費用対効果のある対策を検討し、地元自治会、教育委員会、公安委員会(亀山警察署)らと意見交換を行いながら、安心・安全なまちづくりを目指し事業実施に努めていく。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 維持修繕室長 松尾 敏